

[講演要旨] 宝永(1707)・安政東海(1854)地震津波の三重県における 集落別詳細震度分布

都司嘉宣・行谷佑一・伊藤純一(東京大学地震研究所)

三重県は歴史上約 100 年あまりの間隔で、東海地震系列の巨大地震の被害を被ってきた。江戸時代に起きた、宝永地震(1707)、安政東海地震(1854)の記録は三重県にも豊富に残されている。本研究では、近世の「村」を単位とした集落別詳細震度の分布図を作成することを試みた。

